

滝田としゆき

たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

印西市・印旛郡栄町 特集号



12月に続き2定例会本会議・連続登壇の滝田県議

印旛(N-T地区)新児童相談所 新年度、設計着手へ

い状況に置かれているものと思われ、
そこであらうが、2月1日から新たに稼働した児童相談所業務システムでは、

どのような業務の効率化が図られたのか。
健康福祉部長 新システムでは、児童に関する情報や通告内容、初期調査結果などについて、入力から進捗管理までを一元的に行い、会議資料自動作成機能を用いることにより、速やかにペーパーレス会議を開催することが可能となるなど、業務の効率化が図られたところで、

さらに、虐待事案に関する警察からの照会についても、児童相談所と警察本部及び県内全ての警察署において、システム上で確認できる体制を構築したところであり、情報共有の迅速化を進めました。
今後、運用状況を見ながら、児童相談所や関係課の職員で構成するシステム開発委員会において、必要な機能の検討を行い、児童相談所の業務執行体制の効率化と二層の強化に努めてまいります。

東上総児童相談所 第三者評価生かして業務の質向上を図る
滝田議員 昨年度実施した東上総児童相談所の第三者評価の結果を踏まえ、今後県としてどのように取り組んでいくのか。
知事 一時保護部門では、子どもの意見表明権の補償など「子どもの権利擁護」を意識した取り組みが十分でないこと、経験年数が浅い職員の増加により、人材育成への一層の取り組みが必要なことなどを指摘されました。

児童相談所の人材育成と 県独自のキャリアパス 制度創設を要望!!

ための取り組みを進めてまいります。
滝田議員 子どもを守るためにも、明るい将来を見ながら、児童相談所職員が誇りと意欲を持ち続けられるような、キャリアパスに基づいた体系的、計画的な人材育成が行われることを要望する。

千葉県議会随一の論客として注目される滝田敏幸県議(4期)は3月1日、12月定例に続き本会議で現役最多となる33回目の一般質問に登壇。北総鉄道運賃下げ及び都心直結線、印西市への新児童相談所設置と児童虐待防止対策、AED普及・循環器病対策基本計画、教育問題ほか県政の重要課題について白熱の質疑を行いました。

特に、児童虐待防止対策では、今後大幅な採用増が見込まれる(保護司など)児相職員の人材育成と県独自のキャリアパス制度創設を提言。また、北総鉄道運賃下げからフェーズを前へ進め、成田空港アクセス強化に資する都心直結線について、国及び東京都との協議を熊谷知事に促すなど、地方自治「二元代表制」の一翼を十分担う内容となりました。今後も県政のリーダーとしての更なる活躍が期待されます。

滝田議員 野田市で発生した、わずか10歳であった女児の尊い命が両親からの虐待によって失われた事件から3年経った。

一度とこのような悲惨な事件を起ささないためには、この事件を風化せず、子どもと子どもとの最善の利益を最優先にするという強い決意のもと、徹底した再発防止対策に継続して取り組んでいかねばならぬ。一方で、複雑化、困難化する業務に対応している児童相談所の児童福祉司など、専門職員は精神的にも厳し

滝田議員 複雑化困難化している児童虐待事案への対応にあたり、市町村担当職員及び児童相談所職員のスキルアップをどのように図っていくのか。

健康福祉部長 市町村と児童相談所は、ともに児童虐待の通告を受理し援助する機関として、子どもの安全と福祉を守る責務を負っており、虐待事案への対応については、適切な役割分担のもとで、連携、協力して対応していくことが必要です。
令和2年3月に改正した千葉県子ども虐待対応

マニュアルについては、市町村の意見も十分に踏まえて作成したところであり、現在は市町村職員と児童相談所職員の合同の研修を実施し、マニュアルの定着とともに共通理解が図られるよう努めているところで、

さらに、市町村職員と児童相談所職員がそれぞれ役割を十分に認識して、ともにスキルアップを図ることは、本県の児童虐待対応力の向上につながるから、より一層活発な人事交流を行うなど、今後とも相互理解や連携を図る

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印旛郡印西町大森生まれ 大森小、印西中、県立我孫子高校卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議2期
- 2007年 千葉県議4期
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画水道常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2021年 千葉県監査委員

都心直結線、国・都との協議の場の設置急げ!



県執行部の施策に対して要望する滝田議員

滝田議員 今後、増大する航空需要の受け皿として、成田空港の機能強化が現在も着々と進められているが、更なる都心との交通アクセスの強化も、同時に進めていかなければ、機能強化の効果を最大限に発揮することができない。

そのためにも、都心直結線は国策として、早期に整備すべきであり、県も国に対し、事業の具体化を図るよう強く求めていくべきと考える。

そこで、国が、都心直結線の整備の必要性について、県の認識はどうか。知事 都心直結線は、大深度地下を活用して、京成線押上駅から東京駅付近までを直線的に結ぶ新線である。



都心直結線を走行予定のスカイライナーA-E形車両

AED使用率4.6%普及促進策強化せよ!

滝田議員 AEDの維持管理の重要性について周知の徹底を図るべきと考えるがどうか。保健医療担当部長 AEDが必要時に正常に作動するよう、点検を適切に実施することは、大変重要であると認識しています。

県では、成田市の事業を踏まえ、各消防本部に対し、救急業務に使用する資器材の点検と再発防止の徹底などを要請するとともに、AEDを設置している公共施設に対し、保守点検の徹底を要請しました。

また、AEDを設置している民間施設に対しても、いる民間施設に対しても、県ホームページ等の広報媒体や各部署の関係団体を通じて、確実な保守点検の実施について働きかけてまいります。

北総鉄道運賃値下げと経営安定化を質す

滝田議員 北総鉄道の令和3年度上期決算の状況はどうか。

総合企画部長 北総鉄道の令和3年度上期決算は、輸送人員が年度当初に、昨年の緊急事態宣言に伴う大幅な落ち込みから回復したことなどにより、旅客運輸収入は、前年度同期と比べ7.0%増の49億3千7百

万円となりました。また、費用面では、安全の確保を前提にコスト削減に努めた結果、純利益は19.5%増益の8億9千4百万円となりました。

よる厳しい状況が続いており、会社では、層の経営改善に努めていくとしています。

また、利用者の増加に向け、沿線市などと構成する「北総線沿線地域活性化協議会」において、沿線地域のPRやイベントの開催などについて、検討してまいります。

滝田議員 北総鉄道の経営安定化に向けて、県は、今後、どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 県としては、長期債務の縮減を図ることが重要と考えており、

引き続き、国に対し、長期債務の軽減措置を要望してまいります。

また、AEDを設置している民間が多数多くあり、きちんと点検がなされているか非常に心配であるので、民間が設置するAEDも常に使用できる万全な環境整備に取り組んでいただくよう要望する。

イベントの開催については、会社との信頼関係も醸成されたことなので、北総鉄道と連携し、乗客の利用

団体との協議の場の設置という知事の手紙があったが、都心直結線のようなビッグプロジェクトは、事務方でいくら進めようと思っても、進むものではないと考える。

都心直結線の整備が進むのではないだろうか。知事には、この都心直結線の整備が、成田空港の機能強化にとって死活的に重要という認識を持っていただき、県の先頭に立って、裂けの気合で東京都や国との協議に当たっていただきたいと思う。

鎌ヶ谷・本埜線バイパス早期開通を要望

滝田議員 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 これまでに用地取得を完了し、印西市側の2.0キロメートル区間の工事が概成しており、現在、残る区間の道路改良工事等を実施しています。

このうち旧長門川を横断する両渠の工事においては、想定よりも地盤が軟弱であったため、現在、河川を締め切る仮設工事に追加対策を実施しているところであり、当初の工程よりも遅れが生じております。

県としては、今後速やかに対策工事を完了させるべく、1日も早く供用できるように事業を進めてまいります。

滝田議員 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは、当初の工程よりも遅れが出てきていることだが、地元期待も大変に大きいので、一日も早く、供用するようお願いする。

要望 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは、当初の工程よりも遅れが出てきていることだが、地元期待も大変に大きいので、一日も早く、供用するようお願いする。

要望 滝田議員 長期債務の軽減を求めています。